

平成21年度麻布大学同窓会埼玉県支部総会

埼玉県支部の総会は、毎年、県内の東西南北地域を持ち回りで開催しています。本年度は、NHKの連続テレビ小説「つばさ」の舞台である、川越市の老舗割烹「福登美」において、政岡学長のご臨席を賜り、7月26日（日）に開催しました。

総会では、藤澤会長の、本部代議員会の結果報告等を兼ねた挨拶に始まり、事業と収支決算報告、事業計画が原案通り承認されるとともに、役員改選が行われ、藤澤会長の再選と新たな役員が選出されました。

また、来賓の政岡学長には、大学の現状等について幅広いお話を賜り、会員からの質問にも丁寧にお答えいただきました。

支部の会員数は、約百人ですが、本年度の出席者は、会員が昭和19年から平成17年卒までの21名、政岡学長を含めて、総数22名でした。

昨年度は、一年間で6人の会員が逝去されたこともあり、総会の終了前に全員で黙祷し、故人のご冥福をお祈りいたしました。なかなか会員が増えない状況がありましたが、ここ2年間は毎年3名の新入会員を迎えることができ、今後も勧誘を積極的に進めていくこととしております。

総会後には懇親会が開かれ、専門学校の話しに始まり、老若男女の同窓生同士で話しの輪が広がり大いに盛り上がりました。懇親会は、恒例である中村副会長のリードにより、校歌斉唱、エールの交換でお開きとなりました。その後、二次会、三次会と続き、遅くなってからの解散となりました。

最後になりますが、麻布大学及び同窓会のますますの発展と同窓生のご健勝を御祈念申し上げます。

(埼玉県支部事務局 金子 文男)

